

I 次のA～Cの文章を読み、設問(1)～(10)に対する答えをそれぞれ①～⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A 野生の麦類の栽培と偶蹄類の家畜化を背景にメソポタミア文明とエジプト文明が形成され、やがて、両文明を含むオリエント地域を統一する勢力があらわれた。それが、前9世紀以降に台頭したアッシリアである。しかし、その属州支配は多くの反発と反乱をまねき、アッシリアは前7世紀末に都ニネヴェが陥落して滅亡した。その後、リディア、新バビロニア、エジプト、メディアの4王国が分立したが、いずれもスサにおこったアケメネス朝により征服され、オリエントは再び統一された。

アケメネス朝のオリエント支配は比較的長く続いたが、前5世紀前半のギリシア征服戦争(ペルシア戦争)に失敗し、さらに前4世紀後半には、マケドニアのアレクサンドロスに攻め込まれて、終焉を迎えた。アレクサンドロス没後のオリエント世界では、各地に設けられたギリシア風の都市にギリシア人が移住し、ヘレニズム諸王国が成立した。

いっぽう、西方におこったローマと東方におこったパルティアは、ヘレニズム諸王国を制圧しながら、メソポタミア近辺をめぐって激しい抗争を続けた。パルティアはササン朝にとって代わられたが、ササン朝もローマとの激しい攻防を繰り返した。

アケメネス朝とパルティア、そしてササン朝もイラン系の王朝であり、この地にはイラン人を中心とした統治構造と官僚制度を備えた伝統が形成され、後世にも多大な影響を残した。

〈設問〉

(1) 下線部1に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 1

- ① アメンホテプ4世(イクナートン)はアトン神を唯一神とする宗教改革を断行した。
- ② 「エジプトはナイルのたまもの」と伝えたのは、トゥキディデスである。
- ③ 中王国時代末期、ヒクソスがスーダンから侵入してエジプトを支配した。
- ④ ラメス(ラメセス)2世はカデシュの戦いで、ヒッタイトを滅ぼした。
- ⑤ ロゼッタ=ストーンは線文字Bの解読の手がかりになった。

(2) 下線部2に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 2

- ① サルゴン1世はユダ王国を滅ぼし、住民を都に連行した。
- ② 新バビロニア王国のハンムラビ王は、法に基づく強力な政治をおこなった。
- ③ 当時のエジプト王国では、クフ王らによってピラミッドが盛んに建設された。
- ④ メディア王国は小アジアに建国した。
- ⑤ リディア王国は世界史上はじめて貴金属製の貨幣をつくった。

(3) 下線部 3 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

3

- ① キュロス 2 世は新バビロニア王国から自立した後に、征服活動を開始した。
- ② スサ・サルデス（サルデイス）間など、王都と地方を結ぶ「王の道」が設けられ、駅伝制が敷かれた。
- ③ ゴロアスター教が信仰されていたが、末期にマニ教が国教となった。
- ④ 武断主義的な属州支配により、支配下にあった民族特有の文化は急速に衰えた。
- ⑤ ペルシア戦争の発端となったイオニアの反乱は、エフェソスを中心に始まった。

B 7 世紀にアラビア半島で勃興したイスラームは、正統カリフ時代からウマイヤ朝時代に急速にその勢力を拡大し、西方では東ローマ帝国（ビザンツ帝国）からシリアやエジプトなどの領土を奪い、北アフリカ沿岸を西進してイベリア半島までをも制圧した。東方ではササン朝ペルシアを征服して、さらに内陸アジアへと支配を拡大させた。しかし、8 世紀半ば、ウマイヤ朝は革命運動により倒され、代わりにアッバース朝が成立した。アッバース朝はティグリス河畔に都（ 5 ）を建設した。いっぽう、ウマイヤ朝の一族はイベリア半島に逃れ、コルドバを都に後ウマイヤ朝を建てたため、イスラーム世界は政治的に分裂することになった。

イスラーム文化は、アラブ固有の文化に各地の文化遺産を積極的に吸収して織り込んだことから、時代や民族の枠を超えた普遍的で高度なレベルに到達した。アッバース朝時代、（ 5 ）の「知恵の館（バイト=アルヒクマ）」では、ギリシア語文献のアラビア語への翻訳が組織的に進められ、さらにイランやインドの学問もとりいれられた。特にこの時期、十進法や数字、またゼロの概念をインドから学んで計算が便利になり、代数学が発達した。哲学と医学の分野では、（ 7 ）がギリシア哲学を研究してイスラーム哲学を体系化するとともに、彼が書いた『医学典範』はラテン語に翻訳され、西ヨーロッパ医学の原点の一つとなった。また、技術面でも、西アジア一帯における運河開削、地下水路開掘にかかわる技術は、各地の灌漑施設を充実させ農業生産を向上させることとなった。

〈設問〉

(4) 下線部 4 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

4

- ① ウマイヤ朝はシリア総督ムアーウィヤによりひらかれた。
- ② ウマイヤ朝は東ゴート王国を滅ぼした。
- ③ この時期のカリフは、アラブ軍兵士のためにイクター制を実施した。
- ④ ササン朝滅亡のきっかけとなった戦いは、タラス河畔でおこなわれた。
- ⑤ シーア派は、正統カリフ、ウマイヤ朝とつづいた政権の正統性を認めた。

(5) 空欄 5 に入る地名は、次のうちどれか。

5

- ① イスファハーン
- ② サマルカンド
- ③ ダマスクス
- ④ バグダード
- ⑤ ペルセポリス

(6) 下線部 6 の時代の代数学を代表する学者としてもっとも適切な人物は、次のうち誰か。

6

- ① イブン=ルシュド
- ② ウマル=ハイヤーム
- ③ フィルドゥシー
- ④ フワーリズミー
- ⑤ ラシード=アッディーン

(7) 空欄 7 に入る人物のラテン名は、次のうちどれか。

7

- ① アヴィケンナ
- ② アヴェロエス
- ③ アベラール
- ④ トマス=アクィナス
- ⑤ ベネディクトゥス

C 第一次世界大戦で戦場となった西アジアのアラブ地域は、イギリスの矛盾する秘密外交に翻弄された。イギリスがフセイン・マクマホン協定でアラブ国家の独立を約束したことをうけ、アラブ人は対オスマン帝国戦に参戦したものの、この約束は戦後反故にされ、イギリスとフランスと(8)との間に結ばれたサイクス・ピコ協定が優先された。その結果、(9)はフランスの、イラク・パレスチナなどはイギリスの委任統治下におかれた。また、ユダヤ人に「民族的郷土(ナショナル=ホーム)」の設立を認めたバルフォア宣言を背景に、世界各地からユダヤ人がパレスチナに移住し、現在につながるパレスチナ紛争の原因となった。

〈設問〉

(8) 空欄 8 に入る国は、次のうちどれか。

8

- ① アメリカ
- ② イタリア
- ③ オランダ
- ④ スペイン
- ⑤ ロシア

(9) 空欄 9 に入る地域は、次のうちどれか。

9

- ① アラビア半島
- ② イラン
- ③ エジプト
- ④ シナイ半島
- ⑤ シリア

(10) 下線部10に関する記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

10

- a 国際連合によってアラブ人地域とユダヤ人地域の分割案が提示され、アラブ連盟はこれを受け入れた。
- b イギリス・フランスはスエズ運河の国有化に反発して、イスラエルとともにエジプトに侵攻した。
- c 第4次中東戦争にさいしてアラブ産油国は、石油価格を大幅に引き下げた。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

II 次の文章を読み、設問(1)~(10)に対する答えをそれぞれ①~⑤から1つ選んで、その記号を解答紙の所定欄にマークしなさい。

ローマは古代から、税や貢納、あるいは寄付など他から送られてくる富に支えられてきた稀有な存在である。そのローマが古代以来整えてきたさまざまな制度や法の体系は、後世に多大な影響を与えてきた。たとえば、共和政ローマの呼称「ローマ元老院ならびに民衆Senatus Populusque Romanus」の略号S.P.Q.R.は、ローマが支配した各地の建造物に刻印されたが、ローマでは今でも公共建築はもちろんのこと、バス、マンホールの蓋からゴミ箱にいたるまで、S.P.Q.R.と表示されている。共和政の理念をあらわすこのマークは後の欧米各国にも受け継がれ、アムステルダムの市庁舎にはS.P.Q.A.、ハンブルクの市庁舎にはS.P.Q.H.、シカゴの裁判所にはS.P.Q.C.と刻まれるなど、ローマの影響の一端を垣間見ることができよう。

ローマは前509年にエトルリア系の王を追放して、共和政に移行した。政権を握った貴族¹（パトリキ）に対して、平民（プレブス）は参政権と債務奴隷化の阻止などを要求して身分闘争を展開した。このプレブスの要求は、ローマの征服活動と連動していた。前396年のウェイイ征服後に、ローマの征服活動は活発になり、パトリキは武具を自弁して重装歩兵として従軍するプレブスに譲歩していった。そして、前367年のリキニウス・セクステイウス法や前287年のホルテンシウス法などにより、長く続いた身分闘争は表面的には終了した。しかし、いくら譲歩をかさねても、政治的実権は有力貴族の集まる元老院から離れることはなく、征服活動からもたらされる支配の果実はローマ全体を潤した。イタリア半島の都市は、前3世紀前半までにローマの支配下に入り、その市民たちは征服戦争に駆り出されていった。こうした都市は、植民市、自治市、同盟市として区分され、結束してローマに対抗しないように個別にローマと条約を結ばされた。

半島外の海外領土は属州とされ、総督がローマから派遣されて行政にあたった。市民権を制限したギリシアのポリスとは異なり、ローマは服属した住民の一部にローマ市民権を与えて懐柔することで、広大な領域を支配することになった。

前146年は、大きな節目の年となった。この年に、ローマは3次にわたるポエニ戦争を通じて長年西地中海の覇権を争ってきたカルタゴを最終的に破り、文字通り破壊した。また、ギリシアではマケドニアに続き、ペロポネソス半島のアカイア同盟を打倒し、同盟の中心コリントスも徹底的に破壊した。

この間、ローマ人はギリシア文化に深く傾倒するようになっていたため、多くの知識人や文人たちがギリシア・ヘレニズム世界からローマに招聘され、多大な影響を与えることとなった。

征服活動と並行して、ローマの政治と社会は大きな変革期を迎えていた。前2世紀末、ロー

マは「内乱の1世紀」と呼ばれる時代に突入し、閥族派と平民派との間で激しい政争がくりひろげられた。前1世紀になると、土地を喪失した中小農民や下層民も市民権さえもっていれば、有力なパトリキヤノビレス（新貴族）の庇護民（クリエンテス）となることで、生活が保障されるようになった。政界を左右する有力者（パトロン）はクリエンテスを家族ごと食客として抱え込み、戦時には私兵として戦陣に駆り出し、公職に立候補する際には票田として利用するようになった。

第2回三頭政治を経て権力の頂点に立ったオクタウィアヌスは、エジプトを制圧してローマに凱旋し、内乱を終結させた。彼は自ら「市民のなかの第一人者」を意味する（7）と称し、共和政の仕組みをまといながら事実上の一人支配を始めた。これをもってローマは帝政時代に入ったとされる。

その後約2世紀にわたって続く「ローマの平和（パクス=ローマーナ）」の時代、広大な領域内ではローマ風の都市が多数建設された。主要都市は規格化された街道で結ばれ、一定の距離ごとに宿駅が置かれ、公用の駅伝馬車が疾走した。

パクス=ローマーナ期、東西交流も活発におこなわれた。陸上の絹の道（シルク=ロード）や草原の道（ステップ=ロード）に加えて、季節風を利用した海上交易も盛んになり、その航路の海の道（マリン=ロード）は、地中海から、紅海、アラビア海、ベンガル湾、南シナ海に達した。

〈設問〉

(1) 下線部1にもっとも近い時期にギリシアで起きた出来事は、次のうちどれか。

11

- ① カイロネイアの戦い
- ② クレイステネスの改革
- ③ パルテノン神殿の完成
- ④ ペロポネソス戦争の勃発
- ⑤ ミケーネ文明の崩壊

(2) 下線部2の内容を説明する文章としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

12

- ① 護民官が設置された。
- ② コンスルのうち一人は平民から選ばれるようになった。
- ③ 初めて慣習法が成文化された。
- ④ 平民会の決議が元老院の認可なしに国法となることが定められた。
- ⑤ 平民だけが参加できる民会（平民会）が設けられた。

(3) 下線部3に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

13

- ① 元老院議員が属州総督に任命されることはなかった。
- ② 属州が増えるにつれ、奴隷は使役されなくなった。
- ③ 属州で富を集積した有力者は、おもにコロヌスを用いたラティフンディア経営をおこなった。
- ④ 属州での徴税は、富裕者だった騎士（エクイテス）が請け負った。
- ⑤ ローマが最初に設置した属州は、ダキア州であった。

(4) 下線部4に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

14

- ① カルタゴはアラム人の植民市として建設された。
- ② カルタゴは現在の南フランス沿岸部にたてられた都市国家だった。
- ③ 第1次ポエニ戦争は、クレタ島をめぐるで始まった。
- ④ 第3次ポエニ戦争でカルタゴを最終的に破ったのは、平民派のスラである。
- ⑤ ローマは第2次ポエニ戦争でハンニバルに苦しめられたが、ザマの戦いで彼を破った。

(5) 下線部5に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

15

- ① エピクテトスはエピクロス派の哲学者として活躍した。
- ② ストラボンは『ゲルマニア』を著した。
- ③ プトレマイオスは地動説を唱えた。
- ④ プルタルコス『博物誌』によって当時の自然科学を集大成した。
- ⑤ ポリビオスは政体循環史観で知られる。

(6) 下線部6に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

16

- ① グラックス兄弟は大土地所有制をさらに促進しようとしたが、失敗した。
- ② この時期に、剣闘士スパルタクス率いる大反乱が起こった。
- ③ 同盟市戦争後、ローマはそれまで与えていたローマ市民権を諸都市から剥奪した。
- ④ ポンペイウスはガリア遠征により名声を高めた。
- ⑤ マリウスは志願兵制を廃止して、市民皆兵を徹底する改革をおこなった。

(7) 空欄7に入る語としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

17

- ① インペラトル
- ② コンキスタドール
- ③ ディクタトル
- ④ プリンケプス
- ⑤ マヨル=ドムス

(8) 下線部8に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

18

- ① この時期の帝政は専制君主政（ドミナトゥス）とよばれる。
- ② ネルヴァ帝の時代にローマの版図は最大となった。
- ③ マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝が『自省録』を執筆した。
- ④ 四帝分治制（テトラルキア）が始まった。
- ⑤ 『ローマ法大全』が編纂された。

(9) 下線部9を起源としない都市は、次のうちどれか。

19

- ① ウィーン
- ② ケルン
- ③ パリ
- ④ ペテルブルク
- ⑤ ロンドン

(10) 下線部10に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

20

- ① インド南端部では、チョーラ朝やパーンディヤ朝などのクメール国家が栄えた。
- ② 西域都護の班固は、部下の甘英を大秦国に派遣した。
- ③ 「大秦王安敦」によって派遣された使節が日南郡にいたった、という記録が残る。
- ④ デカン高原から西北インドまでの広い地域で、海上交易の利を得たグプタ朝が栄えた。
- ⑤ マレー半島の先端部に扶南が建国され、その港オケオではローマ貨幣も出土した。

Ⅲ 次の文章を読み、設問(1)~(10)に対する答えをそれぞれ①~⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

中世ヨーロッパの国家と教会との関係について、東ヨーロッパではビザンツ帝権がおおむね教権を凌いでいたことから一円構造にあるといわれるのに対し、西ヨーロッパでは王権と教権とが互いに拮抗することが多く、二つの中心をもつ楕円構造を成していたといわれる。そもそも、この特質の差はローマ帝国時代の五大教会のうち、イスラーム圏に入らなかった二つの教会に由来した。

¹ ローマ教会はフランク王権とつながり、西ヨーロッパ内での主導権を確立していった。また、8世紀以降も² コンスタンティノーブル教会との首位権争いを繰り広げ、次第に強大な権限と権威とを身につけていった。フランク王国のカールは西ヨーロッパのほぼ全域を統一したが、その死後は、諸侯権力の自立化に歯止めが利かなくなっていた。政治的な分権化が進むなか、共通の教義と儀礼をもつローマ教会は、教皇を頂点とする聖職位階制（ヒエラルキー）を通じて、都市や村落の人々を一元的に把握して強大化した。

ローマ教会にとって、11世紀は大きな転換期となった。まず、ローマ教会とコンスタンティノーブル教会は、1054年に相互に破門して分離した。これはそれ以前から始まっていたラテン・ゲルマン的なカトリック世界とギリシア・スラヴ的な正教世界との分離を象徴する大きな事件でもあった。その後、両者の関係修復の試みは幾度かおこなわれたものの、最終的な和解は20世紀の第2バチカン公会議まで持ち越されることになった。

クリュニー派の聖職者イルデブランドは、1073年に教皇グレゴリウス7世として即位し、皇帝や諸侯などの俗人による聖職者の任命を聖職売買（シモニア）として禁ずる改革をすすめた。これに神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世が反発し、教皇と皇帝との間に³ 叙任権闘争が始まった。また、その間、クリュニー修道院出身のウルバヌス2世が、ビザンツ皇帝の要請に応えるかたちで十字軍の派遣を提唱し、国王を含む諸侯・騎士勢力によるイスラーム世界への軍事遠征が始まった。

1198年に即位したインノケンティウス3世は、イングランド王ジョンを破門して臣従させ、第4回十字軍と⁴ カタリ派に対するアルビジョワ十字軍の派遣を提唱した。また、フリードリヒ2世を帝位に推挙し、アッシジで結成された(5)を公認し、「教皇は太陽、皇帝は月」という演説をおこなうなど、彼の時代に教皇権は最高潮に達した。

しかし、14世紀に入るとフランス王は国内の教会組織を取り込もうとして、ローマ教皇の前に立ちはだかり、とりわけ⁶ フィリップ4世は大きな揺さぶりをかけた。

15世紀前半に開催されたコンスタンツ公会議では、教会にとっての新たな火種についても議論された。そこでは、ウィクリフとその教説に共鳴した⁷ フスが異端とされ、召喚されたフスはそのまま火刑に処された。それは、従来の修道院運動などのカトリック内改革運動というレベ

ルにとどまらず、宗教改革運動の前触れだった。

1517年、ルターの「95か条の論題」を機に、カトリック教会の存在理由そのものを否定する宗教改革が始まった。オスマン帝国・フランスと敵対していた⁸皇帝カール5世は、諸侯と結びついて展開するこの改革運動への対応に苦慮したが、ついに1555年にアウクスブルクの和議が成立した。その後、ルター派の教会は主にドイツ北部から北欧にかけて、カトリックに取ってかわっていくことになった。

フランス出身のカルヴァンは、1536年以降、スイスの(9)で改革運動を展開した。彼は予定説を唱え、勤労の結果としての蓄財を肯定したこともあり、カルヴァン派は各地の新興市民層に受け入れられていった。

イングランドでは、かつてルター改革を批判して「信仰の擁護者」の称号を教皇から得ていた¹⁰ヘンリ8世がローマ教会からの離脱を図り、エリザベス1世のもとでイギリス国教会が確立した。

〈設問〉

(1) 下線部1に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

21

- ① カールはヴァンダル王国を滅ぼして、その領土をローマ教会に寄進した。
- ② クローヴィスはトゥール・ポワティエ間の戦いで、ウマイヤ朝勢力を破った。
- ③ 5世紀末にフランクを統一したカール=マルテルは、アタナシウス派に改宗した。
- ④ ビザンツ皇帝レオン3世は、カールにローマ皇帝の冠を授けた。
- ⑤ ピピンはラヴェンナ地方をランゴバルド王国から奪い、ローマ教皇に寄進した。

(2) 下線部2に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

22

- ① ユスティニアヌス1世は、ミラノにハギア=ソフィア聖堂を建立した。
- ② グレゴリウス1世は、聖像禁止令を發布した。
- ③ 聖像禁止令はビザンツ帝国の滅亡まで堅持され、聖像崇拜はおこなわれなくなった。
- ④ ヘラクレイオス1世はイタリア半島に遠征軍を送り、ローマ帝国の版図を一時回復した。
- ⑤ ローマ教会は聖像禁止令に反発し、東西教会の対立は決定的となった。

(3) 下線部 3 に関する記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

23

- a アミアンの和約が締結され、皇帝は叙任権を喪失することとなった。
- b ヴォルムス協約により政教分離の妥協が成立し、皇帝は叙任権を喪失することとなった。
- c カルケドン公会議が開催され、教皇は叙任権を獲得することとなった。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(4) 下線部 4 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

24

- ① イングランド王リチャード1世が、この十字軍を率いた。
- ② この十字軍はブルターニュ地方のカタリ派に対して派遣された。
- ③ この十字軍はヘンリ2世が率い、王権は南フランスに広がった。
- ④ この十字軍は南フランスの諸侯に保護されたカタリ派に対して派遣された。
- ⑤ ヨハネ騎士団がこの十字軍に際して新たに結成された。

(5) 空欄 5 に入る修道会は、次のうちどれか。

25

- ① イエズス会
- ② シトー修道会
- ③ ドミニコ修道会
- ④ フランチェスコ修道会
- ⑤ ベネディクト修道会

(6) 下線部6に関する記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

26

- a 国内の聖職者にも課税しようとして、ボニファティウス8世と衝突した。
- b 教皇権の絶対性を主張する教皇は、フィリップ4世の軍によりアナーニで一時とらえられた。
- c 対イングランド戦の戦費を調達するために、三部会を招集した。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(7) 下線部7に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

27

- ① アリストテレス哲学の影響を受けたスコラ学を大成した。
- ② イングランドを離れずに聖書を英訳するなどして、自説の普及につとめた。
- ③ 彼が活躍した当時の教会建築の主流は、シャルトル大聖堂に代表されるバロック様式だった。
- ④ 彼の火刑に反発した支持者がおこした反乱が長く続いた。
- ⑤ 聖書の尊重を唱えたが、教会財産と教皇の権力については認めた。

(8) 下線部8と同時期のフランス王が保護したイタリア出身の芸術家は、次のうち誰か。

28

- ① ゴヤ
- ② ドラクロワ
- ③ レオナルド=ダ=ヴィンチ
- ④ レンブラント
- ⑤ ルノワール

(9) 空欄 9 に入る地名は、次のうちどれか。

29

- ① ジュネーヴ
- ② チューリヒ
- ③ ベルン
- ④ ライプツィヒ
- ⑤ ローザンヌ

(10) 下線部10に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

30

- ① イギリス国教会の儀礼から、カトリック的な要素は徹底的に排除された。
- ② エリザベス 1 世は人身保護法を制定した。
- ③ 解散させられた修道院の土地は売り払われ、ジェントリはこれを獲得して社会的地位を高めた。
- ④ ヘンリ 8 世に仕えた大法官トマス=モアは、『愚神礼賛』を著した。
- ⑤ メアリ 1 世の治世下に、統一法が制定された。

IV 次のA～Cの文章を読み、設問(1)～(10)に対する答えをそれぞれ①～⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A ブリュメール18日のクーデタののち第一統領となり、1802年にフランスの終身統領となったナポレオン¹は、1804年5月、国民投票で圧倒的な支持を受けて皇帝に即位し、ナポレオン1世と称した。即位の翌年から諸国は同盟を結んでナポレオン1世に戦いを挑んだが、フランス帝国軍はそれを²はね返して1810～1812年頃にはその勢力は絶頂に達した。しかし、1812年におけるフランス帝国軍のロシア遠征の失敗をきっかけに、ヨーロッパ諸国は解放戦争に立ち上がり、ナポレオンを退位に追い込み、帝政の崩壊につながった。1814年から翌年にかけて、フランス革命とナポレオンによる一連の戦争の戦後処理のため、³オスマン帝国を除く全ヨーロッパの支配者が参加する国際会議がウィーンで開かれた。

〈設問〉

(1) 下線部1が第一統領のときにおこなった事柄としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 31

- ① 王政の廃止
- ② ギルド制の廃止
- ③ 最高価格令の発布
- ④ 宗教協約（コンコルダート）の締結
- ⑤ 人権宣言の採択

(2) 下線部2の時期におきた出来事ではないものは、次のうちどれか。 32

- ① イギリスはロシア・オーストリアなどと第3回対仏大同盟を結んだ。
- ② ナポレオン軍は敵国イギリスとインドの連絡を断つ目的でエジプトに遠征した。
- ③ ナポレオンはベルリンで大陸封鎖令を発して、諸国にイギリスとの通商を禁じた。
- ④ ネルソンの率いるイギリス海軍が、フランス海軍をトラファルガーの海戦で破った。
- ⑤ フィヒテは「ドイツ国民に告ぐ」という講演をおこなった。

(3) 下線部3について、この会議の帰結に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

33

- ① アレクサンドル2世は神聖同盟を提唱して、ヨーロッパのほとんどの君主を参加させた。
- ② オーストリア皇帝はポーランド国王を兼ね、プロイセンは東西に領土を拡大した。
- ③ 自由主義と国民主義（ナショナリズム）を原則とするヨーロッパの国際秩序はウィーン体制とよばれる。
- ④ ドイツには35の君主国と4つの自由都市で構成されるドイツ連邦が組織された。
- ⑤ メッテルニヒの主張する正統主義によってフランスやスペインでカペー朝が復活した。

B 最初に産業革命を経験したイギリスは、ナポレオン戦争後、地主を保護する穀物法などの保護政策をとった。しかし19世紀のイギリスでは、産業資本家が台頭して、議会立法を通じて内政面では自由主義的な改革をおしすすめ、対外的には自由貿易の実現を求めていった。こうしてイギリスは「世界の工場」とよばれるような経済的な地位を国際的に築き上げていった。イタリアでは1848年以降の改革運動の失敗後、サルデーニャ王を初代国王としてイタリア王国が成立し、政治的・経済的統合の土台が築かれた。ドイツではドイツ関税同盟の結成とともに経済統合が実現したが、政治的にはこれにおくれて1871年のドイツ帝国の成立とともに統合がなされた。独立後、西部・南部へと領土を拡大していったアメリカ合衆国は南北戦争を経て大国化していった。

〈設問〉

(4) 下線部4に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

34

- ① イギリスと自治領との関係を定めたウェストミンスター憲章が発布された。
- ② 航海法が定められて、自由貿易の原則が確立された。
- ③ 審査法が廃止され、カトリック教徒解放法が成立して、国教徒以外にも公職につけるようになった。
- ④ リカードは『諸国民の富』（『国富論』）を著して自由放任主義をとらえた。
- ⑤ 労働者は権利の章典をかかげてチャーティスト運動をおこした。

(5) 下線部5の時期における事柄に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

35

- ① カヴールは、ナポレオン3世とプロンビエールの密約を結んでオーストリアに対して戦争をおこし、フランス軍の力を借りてオーストリア軍を破った。
- ② サルデーニャ王国の首相であった自由主義者のガリバルディは、イタリア王国の初代首相となって、産業の振興や近代化のために力を尽くした。
- ③ サルデーニャ軍は、ナポリとトリノで蜂起した秘密結社カルボナリを鎮圧した。
- ④ 「青年イタリア」出身で急進派のマッツィーニは、千人隊（赤シャツ隊）をひきいて両シチリア王国を占領した。
- ⑤ プロイセン=オーストリア戦争（普墺戦争）に際して教皇領が、プロイセン=フランス戦争（普仏戦争）に乗じてヴェネツィアがイタリア王国に併合された。

(6) 下線部6に関する記述a～cの正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

36

- a ドイツ関税同盟に入っていたオーストリアは、ドイツ帝国の成立とともにこの同盟を離脱し、オーストリア=ハンガリー帝国として同君連合国家を成立させた。
- b 統一ドイツの構成・範囲に関する構想のうち大ドイツ主義は、オーストリアを除いて、プロイセンを中心に統一を目指す方式である。
- c 保守的なユンカー出身のビスマルクはドイツ帝国成立後、鉄血政策を開始した。

- ① すべて正しい
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて誤り

(7) 下線部7のあとにおきた事柄は、次のうちどれか。

37

- ① アメリカ=メキシコ戦争
- ② カリフォルニアでのゴールドラッシュ
- ③ 最初の大陸横断鉄道の完成
- ④ テキサス併合
- ⑤ モンロー教書の発表

C ロシアでは1917年の2つの革命の後、1922年の12月にはロシア・ウクライナ・ベラルーシ

(白ロシア)・ザカフカースの4つのソヴィエト共和国で構成されるソ連(ソヴィエト社会主義共和国連邦)の成立が宣言された。また東ヨーロッパでは、ドイツ・オーストリア=ハンガリー帝国・ロシアの3帝国が解体したことによって新しい諸国家が独立した。第二次世界大戦が終わるとアメリカ合衆国を中心とする資本主義圏とソ連を中心とする社会主義圏の間の冷戦がはじまった。¹⁰

〈設問〉

(8) 下線部8に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

38

- ① ロシア十月革命(十一月革命)では、地主の土地を没収する「土地に関する布告」が採択された。
- ② ロシア十月革命(十一月革命)では、血の日曜日事件をきっかけに労働者・農民が蜂起し、ニコライ1世を皇帝とするロシア帝国は崩壊した。
- ③ ロシア二月革命(三月革命)において、ストルイピンの改革によってミール(農村共同体)が解体された。
- ④ ロシア二月革命(三月革命)において、ドゥーマとよばれる国会(下院)が開設され、普通選挙によって労働者・兵士が参政権を得た。
- ⑤ ロシア二月革命(三月革命)において、メンシェヴィキのケレンスキーとレーニンは、ボリシェヴィキのトロツキーを排除して、臨時政府を樹立した。

(9) 下線部9に関して、このときに独立した国ではないものは、次のうちどれか。

39

- ① チェコスロヴァキア
- ② フィンランド
- ③ ブルガリア
- ④ ポーランド
- ⑤ ラトヴィア

(10) 下線部10の1940～1950年代における状況に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

40

- ① アメリカ合衆国のトルーマン=ドクトリンを受けてヨーロッパ共同体（EC）が結成された。
- ② イギリスのチャーチルは、ソ連がバルト海からアドリア海まで「鉄のカーテン」をおろしていると批判した。
- ③ オーストリアは、ソ連の主導で結成されたワルシャワ条約機構に加盟した。
- ④ キューバでソ連の支援によるミサイル基地の建設が発覚し、キューバ危機が発生した。
- ⑤ ソ連は各国共産党の間の連絡・調整機関としてコミンテルンを設立した。

V 次のA～Bの文章を読み、設問(1)～(10)に対する答えをそれぞれ①～⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A 綿花・綿織物から世界の歴史を振り返ると、さまざまな地域の結びつきが見えてくる。まず綿花が世界的に広まったのは大航海時代であり、なかでも¹インド産の綿織物は、²イギリス東インド会社によって大量に輸入された。ヨーロッパではすでに³毛織物や絹織物も使用されていたが、吸湿性に優れ、染色が容易な綿織物は、とくに貴族社会を魅了した。また綿織物は、ヨーロッパ・アフリカ大陸・アメリカ大陸を結ぶ大西洋三角貿易において主要な商品であり、北アメリカではプランテーション（大農園）で綿花が生産されるなど、⁴奴隷制と密接に結びついていた。一方、綿布の需要が高まっていたイギリスでは、18世紀後半から紡績や織布の技術革新が行われ、綿工業を中心に⁵産業革命が進展していくこととなる。

〈設問〉

(1) 下線部1の宗教に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 41

- ① ヴァルダナ朝の時代に、ジャイナ教が開かれた。
- ② クシャーナ朝のカニシカ王は、大乘仏教を厚く保護した。
- ③ グプタ朝の時期には、仏教が栄え、仏典の結集が行われた。
- ④ サータヴァーハナ朝の時代に、ヒンドゥー教が確立した。
- ⑤ マウリヤ朝の時期に、バクティ運動によって仏教は衰退に向かった。

(2) 下線部2が関わっていない出来事としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

42

- ① アンボイナ事件
- ② 中国貿易独占権廃止
- ③ プラッシーの戦い
- ④ ベンガル分割令
- ⑤ ボストン茶会事件

(3) 下線部3の歴史に関する記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

43

- a 中国の絹織物は、隊商交易の拠点となったオアシス都市を介し、西方にもたらされた。
- b 明代に、生糸や陶磁器の生産が進展し、宋応星は『天工開物』で産業技術を解説した。
- c イギリスでは、15世紀末以来、囲い込み（エンクロージャー）がすすみ、羊毛生産が増大した。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(4) 下線部4に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

44

- ① アメリカでは、ミズーリ協定によって、奴隷制を支持する南部とその拡大に反対する北部の対立が激化した。
- ② イギリスでは、グラッドストンの努力で奴隷貿易禁止法が制定された。
- ③ 西アフリカでは、大西洋三角貿易において、奴隷貿易に依存する王国が奴隷狩りによって1000万人以上の男女をアメリカに送り出した。
- ④ ハイチでは、黒人奴隷が蜂起し独立運動がおき、トゥサン＝ルヴェルチュールを初代大統領とする黒人共和国ができた。
- ⑤ ポルトガルは、ブラジルにおける奴隷制プランテーションで主に綿花を栽培させた。

(5) 下線部5に関する出来事を年代が古いものから順に並べた場合、もっとも適切なものは、次のうちどれか。

45

- ① カートライトが力織機を発明→ジョン=ケイが飛び杼（飛び梭）を発明→マンチェスター・リヴァプール間で本格的な鉄道開通→マルクスとエンゲルスが『共産党宣言』を発表→フルトンが蒸気船を実用化
- ② ジョン=ケイが飛び杼（飛び梭）を発明→カートライトが力織機を発明→フルトンが蒸気船を実用化→マンチェスター・リヴァプール間で本格的な鉄道開通→マルクスとエンゲルスが『共産党宣言』を発表
- ③ フルトンが蒸気船を実用化→ジョン=ケイが飛び杼（飛び梭）を発明→カートライトが力織機を発明→マルクスとエンゲルスが『共産党宣言』を発表→マンチェスター・リヴァプール間で本格的な鉄道開通
- ④ マルクスとエンゲルスが『共産党宣言』を発表→マンチェスター・リヴァプール間で本格的な鉄道開通→カートライトが力織機を発明→ジョン=ケイが飛び杼（飛び梭）を発明→フルトンが蒸気船を実用化
- ⑤ マンチェスター・リヴァプール間で本格的な鉄道開通→フルトンが蒸気船を実用化→カートライトが力織機を発明→ジョン=ケイが飛び杼（飛び梭）を発明→マルクスとエンゲルスが『共産党宣言』を発表

B 6 改革・開放政策の開始以降、中国社会は急速に変化を遂げてきた。当面の目標として「小康」（何とか衣食が足りて家計に余裕が出てきた状態）が掲げられ、1人あたりGDP800ドルが目安とされていたが、今やこの目安の10倍を超え、中国は7 高度経済成長期の日本が体験した以上の社会変化を経験しつつある。農村でもほとんどの世帯がテレビ、洗濯機、冷蔵庫を保有するようになり、携帯電話も急速に普及している。インターネット利用者数は、すでに2006年末の時点で日本の人口を超える1億3700万人に達し、2017年には7億7000万人にまで増加した。

こうした物質的変化や情報の流入は、ライフスタイルや価値観の急速な変化と相互関連している。近年、8 中国共産党の社会主義思想にとらわれず、それとは異なる系譜に属する思想の可能性を探ろうとする関心も広がっている。

しかし、このような動向は決して今に始まったことではない。もともと9 20世紀の中国知識人たちは、世界の思想潮流に敏感に反応し、多様な思想や文化を柔軟に受容しながら、目指すべき国家や社会のありかたを模索してきた。例えばプラグマティズムは、1910年代から中国の教育界に紹介されて大きな潮流を形成するようになった。この動きの中心となった知識人たちは、いずれも1910年代にアメリカに留学し、プラグマティズムの中心的指導者である（10）に師事していた。プラグマティズムは、児童一人ひとりに実践的な問題解決能力を

身につけさせ、真の共和国を築き上げるものとして、当時の中国知識人たちに歓迎された。

〈設問〉

- (6) 下線部6の時代の出来事としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 46
- ① 人民公社の解体や国営企業の独立採算化がおこなわれた。
 - ② 中華民国の領土となった台湾で、二・二八事件とよばれる大規模な蜂起が起きた。
 - ③ 東南アジア諸国連合（ASEAN）が結成され、中国との連携強化が目指された。
 - ④ 日本は日華平和条約を締結し、中華人民共和国と国交を結んだ。
 - ⑤ 劉少奇のもとで部分的に市場経済が復活した。
- (7) 下線部7に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 47
- ① 沖縄返還が実現し、沖縄本島の米軍基地は全面的に撤去された。
 - ② サンフランシスコ講和会議で全交戦国との平和条約に調印した。
 - ③ 大躍進政策が実施され、農業生産が急増した。
 - ④ 日韓基本条約が結ばれ、韓国との国交が正常化した。
 - ⑤ 平和主義と国民主権にもとづく日本国憲法が公布された。
- (8) 下線部8に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 48
- ① コミンテルンの指導のもと、孫文らによって結成された。
 - ② 八・一宣言を発して抗日民族統一戦線の結成を訴えた。
 - ③ プロレタリア文化大革命開始後、鄧小平ら党内少数派の権限が強くなった。
 - ④ 北京を首都とする中華ソヴィエト共和国臨時政府を樹立した。
 - ⑤ 毛沢東を主席、張学良を首相とする中華人民共和国を成立させた。
- (9) 下線部9に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 49
- ① 康有為は雑誌『新青年』を刊行し、儒教道徳を批判した。
 - ② 徐光啓は『農政全書』を編さんし、西洋技術もまじえて農業のあり方を説いた。
 - ③ 陳独秀は『文選』の中で、白話（口語）文学を提唱した。
 - ④ 李時珍は『本草綱目』を編さんし、薬学・植物学を解説した。
 - ⑤ 魯迅は『狂人日記』などの小説で、自国民の心理の暗黒面を描いた。

(10) 空欄10に入る人物は、次のうち誰か。

- ① オーウェン
- ② サルトル
- ③ デューイ
- ④ フーリエ
- ⑤ フロイト